

講演会
「環境共生建築の日本とアメリカの比較」
 日時:9月29日(金)15:00~16:30
 場所:島根大学総合理工3号館2F多目的ホール
 講師:石黒隆敏(PES建築環境設計)

<主催>日本建築学会中国支部島根支所
 参加費:無料,参加方法:当日先着40名程度
 問合せ:中国支部島根支所(島根大学総合理工工学部内)黒谷増雄
 TEL0852-32-6509,FAX32-6123,E-mail:kurotani@riko.shimane-u.ac.jp

建築物は、その巨大さゆえに、エネルギーの塊ともいえる鉄やセメントなどの資源を大量に使用する。さらに、竣工後も居住環境を維持するために、空調、照明、給湯などでエネルギーを大量消費している。その上、解体・除去される段階で、大量の廃棄物を生み出している。
 このように、建築物はそのライフサイクルの全てのステージで、地球環境に大きな負荷をかけている。


温暖化を筆頭にさまざまな地球環境問題が顕在化している今、特に建築には、短期的な経済性に替わるものづくりの尺度『環境と人へのやさしさ、さらに経済性と社会性をも統合した尺度』が求められている。


この度の講演会では、アメリカですでに実施されている『地球環境によい建物(グリーンビルディング)』を建設するためのガイドラインとランク付けについて、多くの事例をまじえて紹介する。さらに、『グリーン開発(グリーンディベロップメント)』について、その精神と手法を紹介する。

講師紹介
 略歴:名古屋工業大学大学院修士課程修了(1967年)
 シスカ・ヘネシーコンサルティングエンジニア(ニューヨーク)(1968~1970年)
 ㈱PES建築環境設計を設立(1972年~)
 コンサルティング会社PES INTERNATIONAL, Incをニューヨークに設立(1992年~)
 業務:建築設備設計及び環境を取り巻くコンサルティング業務
 資格:一級建築士、建築設備士、建築設備検査資格者など
 日本建築業協会会員/日本設備設計家協会会員/愛知県設備設計家協会会員/全米グリーンビルディング協会会員

最近の主な社会活動
 2000年4月:2000年地球の日フェスティバル(アースデイ30周年)開催(名古屋)
 1999年9月:『グリーンディベロップメント』監訳、出版(丸善)
 1999年6月:第3回地球環境グリーンセミナー開催(企画・実施)(東京/名古屋/大阪)
 1998年5月:第2回地球環境グリーンセミナー開催(企画・実施)(東京/名古屋/福岡)
 1998年3月:日本グリーンビルディング協会設立
 1997年5月:第1回地球環境グリーンセミナー開催(企画・実施)(名古屋/大阪/広島)

お願い:自家用車でのご来場は、できるだけご遠慮下さい。


 Nagoya University
 理工科学総合研究センター・シンポジウム
環境問題・エネルギーとリサイクル


 1998年12月18日(金)
 名古屋大学シンポジオン

名古屋大学理工科学総合研究センター
 Center for Integrated Research in Science and Engineering

地球環境問題とエネルギーについて 橋崎貞行(エネルギー問題評論家、元CCUJ技術開発部長)	1
ダイオキシン問題とこれからの廃棄物処理 藤吉秀昭((財)日本環境衛生センター次長)	27
環境共生建築の歴史と現況 石黒隆敏(株式会社PES代表取締役)	39
冷暖房廃熱を利用した 年間サイクルエネルギーシステム 奥宮正哉(理工科学総合研究センター助教授)	67
エネルギー・環境問題と衝撃波 遠藤琢磨(理工科学総合研究センター助教授)	95